

質 疑 回 答 書

工事名称：可児市立蘇南中学校校舎大規模改造工事(建築工事)

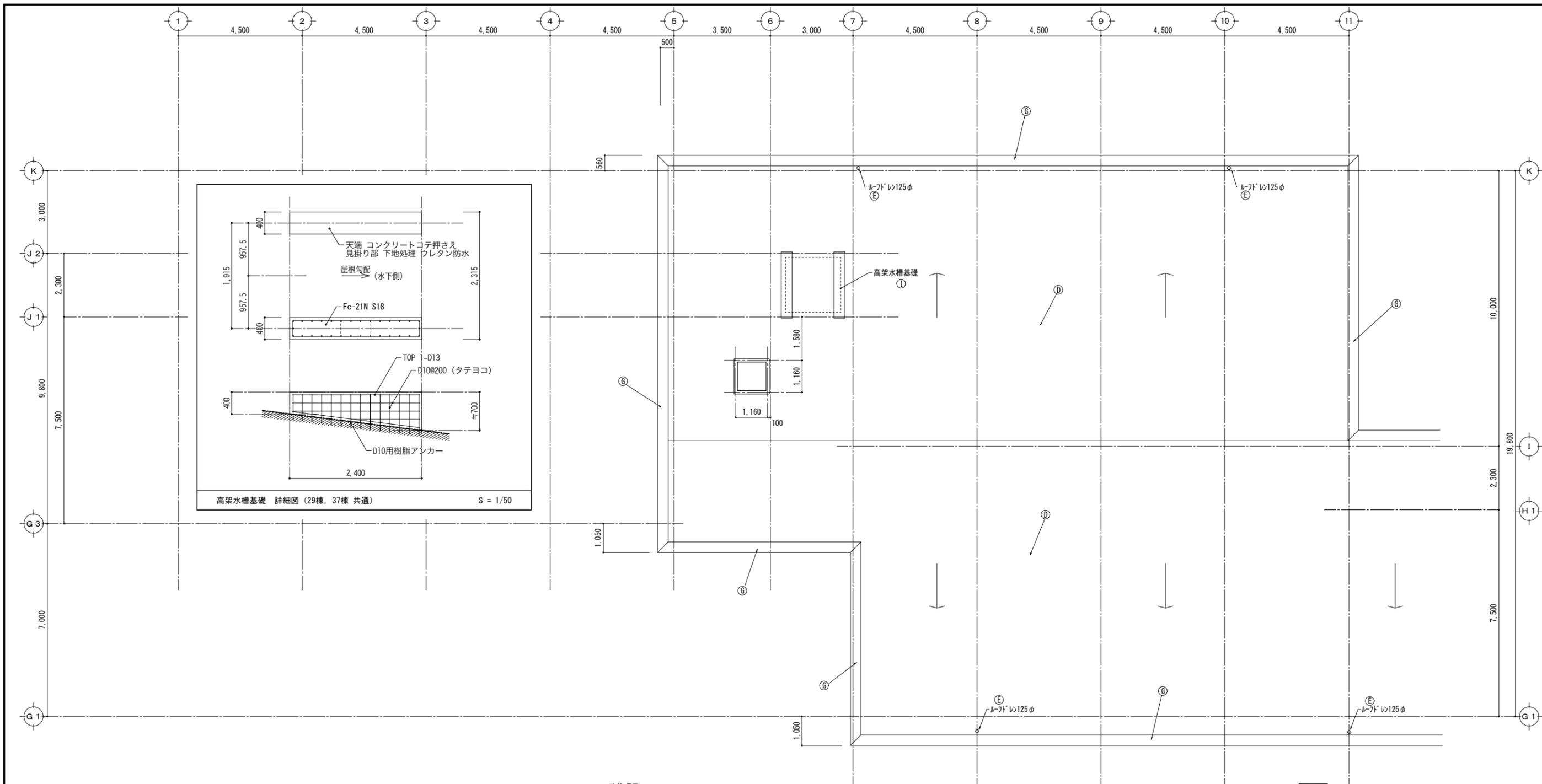
No.	図面番号、仕様書	質 疑	回 答
1	図面番号: 1001、1031番	29棟 1001図の1階WCの床(改修前)に土間コンクリート撤去の記載がありますが、1031図の平面図には土間撤去の記載指示が無いようです。土間下の給排水設備配管の為に土間コンクリートの全面撤去が必要ではないでしょうか。改修後の土間コンクリートはコン厚t100+防湿シートt0.15+碎石t100と考えて宜しいでしょうか。また、1階の改修トイレ土間は全て同じ仕様と考えて宜しいでしょうか。また、土間撤去復旧時は差し筋アンカー-D10@200施工をするものと考えて宜しいでしょうか。	1階土間撤去は必要です。 土間厚さ、防湿シート、碎石厚さは共通で宜しいです。 差し筋アンカーはD10@200で宜しいです。
2	図面番号: 1082番	1082図の仕上げ表3に指示のあります、LWC、MWCの床仕上げ、既設撤去+打増しコンクリートの指示での打増しコンクリートは、既設打増しコンクリートを残す意味で宜しいでしょうか。	宜しいです。
3	仕様書: 外部改修 No.3 頁	<p>参考資料の内訳書、建築工事Aのg外部改修工事の内訳に「北門整備工事」の項目がありますが、図面に指示がありませんので、北門整備工事は無いものと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>北門整備工事(門扉改修工事・フェンス改修工事)についての数量が仕様書内にて一式となっており、仕様・数量について不明確となっております。また、詳細図面がありません。詳細な仕様・数量についてご教示願います。</p> <p>内訳書g外部改修工事2北門整備工事にて門扉改修工事とフェンス改修工事が1式となっております。詳細があればご指示ください。</p>	片引き門扉: W=4000×1基 (四国化成 スタックラインSA1型同等品 ステンレス製フラットレール仕様、鍵付き) 格子フェンス: H=1200(アルミ製) (四国化成 EAF3型同等品 既製品基礎とも)
4	図面番号: 0424番	機械設備工事の図面番号 424図に機器のコンクリート基礎の寸法指示と(建築工事)とありますが、建築工事の図面には機器のコンクリート基礎の指示はありません。機械設備工事の高架水槽、揚水ポンプ、補助加圧ポンプユニット、塩素滅菌装置の基礎は建築工事の各棟のコンクリート、型枠、鉄筋工事に含めますが、ポンプ室の基礎は39棟特別教室棟に含めます。宜しいでしょうか。又、コンクリートはFc21.S18として、配筋はD10@200程度、あと施工アンカーは外周部を接着系アンカー-D10@200程度と考えて宜しいでしょうか。(アンカーボルト材工共=設備工事)	宜しいです。
5	図面番号: 0004・1027番	<p>撤去工事の内、天井材でアスベストラックスt6、天井塗装材料でパーライトEP吹付の指示がありますが、当工事の見積もりではアスベスト含有建材の撤去、処分は、無いものと考えて宜しいでしょうか。特記仕様書4の記載の通り、工事着手前に事前調査を行い、結果を協議するものとします。</p> <p>環境配慮改修工事について、仕様書内にアスベスト含有材料撤去時の指定仮設・養生等の項目がございません。既設天井上材パーライトEP吹付については、レベル1に該当しない(アスベストが含まれ無い)材料として理解してよろしいでしょうか。</p>	宜しいです。
6		<p>各棟の金属製建具工事の学校間仕切り、ステールパーテーションのメーカー名を御指示願います。メーカーにより施工価格が変動する為宜しく願います。</p> <p>内訳書 29棟No.11 学校用間仕切り建具改修に 戸当たりゴム交換と、アルミ製引き戸 戸車交換とありますが、サッシメーカーにより部材が異なります。既存建具のメーカーをご指示ください。</p> <p>図番1078図 建具表 P-2、P-3にて「撤去、再取付、一部補修」となっていますが、メーカー名をご指示ください。(メーカーにより再取付不可の製品もあります。)</p>	既設メーカーは不明です。設計の際には小松ウォール工業(株)が現場を確認しています。他のメーカーでも施工可能であれば、契約後の協議により承認します。

7	仕様書:#31-37棟 No.22頁	仕様書内、下記内容についての図面がございません。 図面のご提供をお願い致します。 【4F国際初期国際指導教室】 化粧棚新設 3ヶ所 連絡BOX新設1ヶ所	化粧棚新設 3箇所：2～4階廊下(B1通り、1～2間) 飾棚板と施工場所を替えてください。 連絡BOX新設1箇所：2階職員室廊下側 連絡BOXと施工場所を替えてください。
8	図面番号:1079番	プレハブ建物のFL高さについて記載がありません。FL高さについてご教示願います。また、土間への勾配・誘発目地の必要性についてご教示願います。	GL+100をFLとします。また、室内土間勾配は水上で+50程度とします。誘発目地については、各 柱通り(タテ、ヨコ)毎に施工とします。 (目地仕様:カッター切り 目地W=5mm程度 深さ15mm程度)
9	図面番号:0005・1021・1023番 1091、1092番 仕様書: 29棟 No.18頁 31-37棟 No. 22項	図面番号0005各工事の区分表に「屋上、外部及び屋内設置設備及び水槽類の基礎 ○」とありますが、29棟高架水槽基礎形状(勾配屋根)・仕様(配筋)の図面がございません。基礎形状・仕様についてご教示願います。 建築図面1023 高架水槽基礎記載なし 機械設備図面451 「コンクリート基礎:建築工事」参考図確認済み 31棟、37棟の高架水槽架台ですが、図面では撤去・新設となっておりますが、基礎の配筋等の仕様がありません。仕様書項目に高架水槽架台基礎新設 1式となっておりますが、こちらにも基礎仕様がありません。基礎の仕様が不明なので指示をお願いします。 高架水槽基礎・架台が図面では撤去のみ、仕様書では基礎・架台新設一式となっておりますが、どちらを正と考えれば宜しいでしょうか？ 新設の場合は仕様が不明なのでご指示下さい。 図面では高架水槽基礎高架水槽架台撤去となっておりますが、仕様書では高架水槽架台基礎新設 1式となっております。基礎新設の仕様をご指示をお願い致します。	添付図1023を参照ください
10		共通仮設工事内訳において、工所用仮囲い成型鋼板H=3mの設置期間について、17か月、12か月、7か月と有りますが、その期間がどの箇所が該当するのをご指示ください	工事は北校舎より順に施工する計画としています。 よって、 39棟の工事範囲:7か月 32棟の工事範囲:12か月 31棟・37棟から現場事務所までの工事範囲:17か月として検討してください。
11		同上、仮囲い成型鋼板 H=3mとありますが、台風等強風により倒れる危険性がありますので、成型鋼板 H=2mにて計画しては宜しいでしょうか	仮囲い成型鋼板はH=3.0とします。ただし、契約後、学校との協議により変更を検討します。
12		図番0006図の仮設計画図において、29・31・37・39棟まで工事車両が入ることは可能ですか(資材搬入、搬出用にクレーン等を使用する為)	学校との協議により可能です。
13		図番1001仕上げ表備考欄に特CR、美術教室①②、陶芸室BB(黒板)、K(掲示板)そのままの表記がありますが、1004、1005図に「56黒板一時取り外し」「57掲示板一時取り外し」となっています。家具の納まり、壁の撤去が無い場合は、仕上げ表を優先して宜しいですか。	宜しいです。

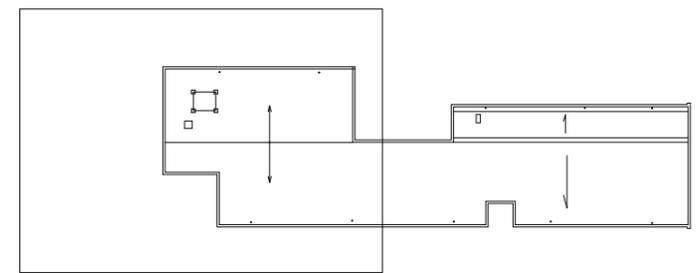
14		図番1079図にポンプ庫・LPG庫・物置の図面が有りますが、別途工事と考えて宜しいですか。	宜しいです。
15		図番1027図矩計図において、「カーテンBOX全て撤去」と「カーテンBOX下地補修」と有りますが、内訳書29棟No15ではカーテンBOXSOP塗替えとなっています。どちらを正としますか。ご指示ください。	SOP塗替えとします。
16		31、37棟 図番1118～1121 天井伏せ図にて梁型は「74GL工法PBt 9.5+EPG」「75下地補修+吹付タイルトップコート塗」ですが、74は1階保健室のみですが、1096図で3階会議室の梁が74となっています。どちらが正でしょうか。ご指示ください。	75.GL工法PB9.5+EPG仕上げとします。
17	図面番号： 1130 番	31,37棟 図番1082図仕上げ表 便所 備考欄にトイレスクリーン撤去・新設と有りますが、建具リストに有りません。ご指示ください。 31棟、37棟の便所改修工事でのトイレベースが建具リストに見当たりません、仕様及びサイズの指示をお願いします。	添付図1084.1086,1088,1090,1130を参照ください。
18		内訳書29棟No.20 4Fワークスペース、廊下にスクリーンBOX新設 L=3600と有りますが、材質をご指示ください。	スチール製(既製品)とします。
19		29棟-1、29棟-2、1階配膳室外部の軒天部分は、改修1階天井伏せ図に改修の指示がありません、そのまま残す事として宜しいでしょうか。	42.下地処理+EP吹付とします。
20		37棟、31棟の2階職員室の廊下側にある連絡BOXの詳細図を御指示下さい。	図1117 内部詳細図2を参照ください。
21		撤去工事の内、一時撤去資材の保管は、グラウンド現場事務所隣に仮設倉庫を設置して保管としても宜しいでしょうか。	宜しいです。
22	図面番号： 1131、1132 番	32棟の昇降口2階の防水処理は16通りを境にして通路側はそのまま、屋根部分は下地処理後シート防水施工と指示がありますが、16通りの立ち上がり部分の止水処理はどのようにされますでしょうか、ご指示願います。	16通り立上り天端コーナー部分にて端部押え金物(アルミ製L型)処理とします。

23	図面番号:1157 番	32棟、1階平面図のF通りに新設家具 昇-01の図示がありますが、展開図になく、家具詳細図にも指示がありません、詳細図の指示をお願いします。	図1168 家具詳細図-05 昇-01生徒用下足入れを参照ください。
24	図面番号: 1001 番	外壁の改修に関して、仕上げ表では高圧洗浄処理後下地補修 RE吹付とありますが、既設塗装面の劣化部を高圧洗浄で除去した後に複層塗材RE吹付施工と考えて宜しいでしょうか、参考内訳書では、左官工事でモルタル金鏝下地補修の項目がありますが、セメント系下地調整塗材C-1程度を劣化損傷部へ施工となるのでしょうか、改修の程度の詳細指示をお願いします。	高圧洗浄後、下地補修(セメント系下地調整塗材C-1)後、RE吹付とします。下地補修(C-1程度)は部分補修程度とします。
25		クラック処理に関してお尋ねします、参考内訳書の内外装工事に、外壁面の20%をクラック補修する項目がありますが、処理方法は樹脂注入工法で行うものと考えて宜しいでしょうか、実施工段階では、仮設置後にクラック調査を行い、実数にて数量確定を行い、工法の検討後、工事数量の変更をするものと考えて宜しいでしょうか。	樹脂注入法とします。また、事前調査の結果をふまえ協議により変更することは可能です。
26	図面番号: 1137、1144番	39棟の既設屋根防水ですが、仕上げ表ではアスファルト防水(絶縁工法)の指示がありますが、改修矩計詳細図では既設は、シート防水2.0非歩行仕上げ撤去の指示があります、仕上げ表を正として宜しいでしょうか。	宜しいです。
27	図面番号: 1001、1020、番	屋根改修で、仕上げ表に既存下地補修塩ビ系シート防水貼(機械固定工法)の指示があります、仕上げ表及び屋根平面図、矩計詳細図には、防水層下地処理の指示はありますが、既設防水層の撤去の指示はありません、しかし、参考内訳書の撤去工事には、アスファルト防水撤去の項目があります、又、左官工事の参考内訳にはシート防水下地のモルタル金鏝下地処理の項目があります、機械固定式の防水処理ですので、既存防水層はそのままでも施工可能と思われそうですが、参考内訳書の通り、既設の防水層は全撤去と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
28	図面番号:1014、1018番 仕様書: #29棟No35、 No38頁	29-1棟3階、被服教室及び4階第一音楽室の、既設救助袋、一時撤去再取付(移設含む)につきまして、既設救助袋が垂直式若しくは斜行式かをご指示願います。既設品番等が分かりましたら、合せて御教示願います。	垂直式です。 メーカー:ウエダ消防建設(株) 品番:S-1-R 認定番号:ふV-002
29	図面番号:1004番	平面図及び展開図において、全ての黒板及び掲示板が一時撤去再取付の指示となっております。家具、鋼製パーテーション仮撤去等の他工事との干渉がない、廊下や教室正面等の壁塗装改修部も図示通り、黒板及び掲示板一時撤去復旧するものと考えれば宜しいでしょうか。 仕上げ表及び仕様書の数量と図面(平面図及び展開図)数量に差異があります。	宜しいです。 平面図の数量を正とします。 契約後の事前調査の結果を踏まえ協議により変更することは可能です。
30	図面番号:0003番	特記仕様書、6内装改修工事-9.軽量鉄骨天井下地材 <項目>インサートにつきまして、・既存インサートを使用する 若しくは ・あと施工アンカーを設ける のどちらにも指示表記がありません。今回の工事につきましては、既存インサートを使用可能という認識で宜しいでしょうか。	宜しいです。
31	仕様書: #29棟 No. 6項	29棟仕様書の木工事に内部巾木とありますが、図面に施工箇所が見当たりません。どの範囲を施工するのか指示をお願いします。 4 木工事【内部】巾木について、図面を見ても該当する箇所が無いように思われます。施工範囲の指示をお願いします。 4.木工事内部巾木について。 図面上に施工範囲が明記されてないのでご指示願います。	レイアウト改修、新設間仕切り設置部の巾木を示します。 1階:特CR廻り 3階:準備室新設間仕切り廻り等

32	図面番号: 1005~1019番 仕様書: #29棟No24頁	29棟仕様書の雑工事項目でCR既設黒板表面材張替とありますが、図面には黒板の一時取外し、再取付としかありません。張り替える場合は施工箇所の指示をお願いします。	各クラスルーム(普通教室)×17箇所とします。 施工する教室の場所は、契約後に指示します。
33	図面番号: 1005番 他 仕様書: 29棟No.11頁 他	学校間仕切建具改修工事において、仕様書 29棟No.11・31-37棟No.13では撤去新設、図面1005~1019・1083~1090では記号㉞にてそのままとなっていますがどちらを正と考えれば宜しいでしょうか？	仕様書を正とし、撤去新設です。
34	図面番号: 1005~1019、 1083~1090番 仕様書: #29棟No11,#31- 37No13頁	学校間仕切り建具改修における出入口扉 撤去新設とありますが、仕様書の数量を正と考えれば良いかご指示をお願い致します。	宜しいです。
35	仕様書: #29棟 No.4頁	2コンクリート工事【内部】増しCon(床レベル嵩上げ)について、配筋の指示が図面・仕様書いずれにもありません。 無筋と判断してよろしいでしょうか。 2.コンクリート工事 内部増しConについて。配筋の指示がありません。 無筋と考えてよろしいでしょうか？	宜しいです
36	設計図書: 現況・撤去 屋根 頁	現況・撤去図面の屋根のルーフトレン、コーナードレン撤去は、ドレン周囲を折り取り、ドレン本体を撤去し、新たなドレンに入替えるものと考えて宜しいでしょうか、ドレン目皿のみ撤去し、改修用ドレンを設置する意味では無いとして工事見積をします。	ドレン目皿撤去、改修用ドレン設置です。
37	図面番号: 1002、1008、 1011番	29棟、2階理科室(1)、(2)、4階音楽室(1)、(2)、1002図仕上げ表の備考欄にスクリーンBOXの記載がありますが、現況・撤去図面に既設のスクリーンBOX+スクリーン撤去の指示があり、改修平面図には番号の記載はありますが施工内容の指示がありません、新規取付は無いものと考えて宜しいでしょうか。参考内訳書の29棟、4階ワークスペース・廊下にスクリーンBOXL3600が4箇所、31・37棟、4階国際初期指導教室にスクリーンBOX新設L2700が1か所の記載がありますが、設計図面には記載指示はありません、こちら無いものと考えて宜しいでしょうか、ご指示をお願いします。	4階ワークスペース・廊下 スクリーンBOX 4箇所は、理科室(1)、(2)、音楽室(1)、(2)の計4箇所と読み替えてください。 4階 国際初期指導教室は、スクリーンBOXを新設します。
38	図面番号: 1002、1049番	29棟の内部壁 改修工事で、㉞、㉟の地下補修SOP塗替え工事は、既設壁合板はそのまま、塗装下地補修として、ケレン+パテ込み処理を施すものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
39	図面番号: 1132・1136番 仕様書: #32棟 No9 頁	32棟昇降口棟、改修矩計詳細図にて内部天井の撤去新設(下地共)の表記がありますが、図面番号1136番、天井伏図では<㉞-GB9.5下地岩綿吸音板12貼そのまま>と記載されております。また、仕様書内の内外装工事及び撤去工事においても、該当箇所に関する数量等、表記がありません。 天井伏図記載の通り、既設のままという認識で宜しいでしょうか。	宜しいです。



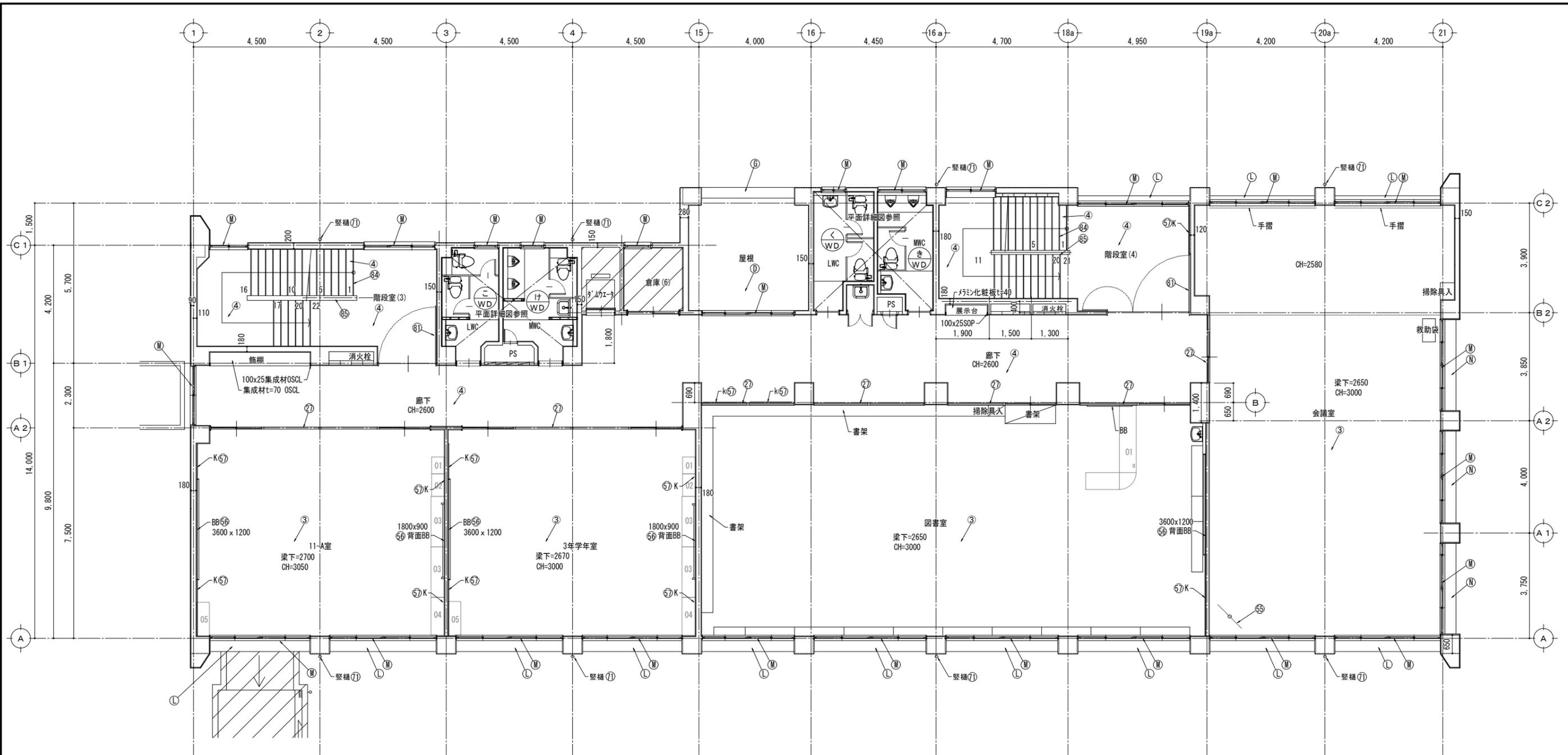
本図に於いて記載ある寸法は参考値とし現地測量により値決定のこと
不明、錯誤な点については監督員と協議の上決定する



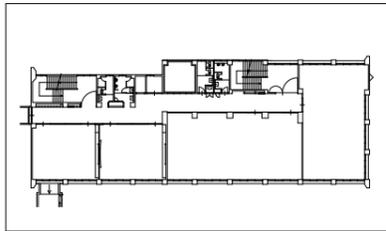
- 平面図凡例
- 鉄筋コンクリート造壁 柱
 - LGS壁下地 50型, 100型
 - 木造壁下地組
 - (消) 消火用補助水槽基礎新設
 - K 掲示板
 - BB 平面黒板
 - P ピクチャーレール
 - +500 KBMからの高さを示す
 - 改修工事施工範囲
 - 改修しない範囲

01 家具記載の番号は家具図の室毎の新設家具固有番号を示す

外部関係	床	巾木	壁	天井	器具・機器	その他
① そのまま	① そのまま	⑭ そのまま	⑦ そのまま	④⑩ そのまま	⑤③ そのまま	⑦⑨ そのまま
② 基礎架台塗膜防水施工	② 下地補修塗床剤塗替	⑮ SOP塗替	⑧ 下地補修EP-G塗替	④① LGS下地GB-D9. 5貼	⑤④ —	⑧⑩ 木製建具新設
③ 高圧洗浄後RE吹付	③ サグ・掛・フタ・フタ3回塗	⑯ EP塗替	⑨ 下地補修SOP塗替	④② 下地補修+EP吹付	⑤⑤ —	⑧⑪ 鋼製建具SOP塗替
④ 塩ビシート防水施工 (機械式固定工法)	④ 下地補修+LVS2. 5貼替UV	⑰ —	⑩ 下地補修SOP塗替	④③ LGS下地GB-D9. 5貼	⑤⑥ 黒板の再取付	⑧⑫ 木製建具SOP塗替
⑤ 改修用L-7ドレン・コーナー	⑤ Mコ下地	⑱ —	⑪ 鋼製ハレーション新設	④④ —	⑤⑦ 掲示板の再取付	⑧⑬ —
⑥ 防水端末押工新設	⑥ Mコ下地LVS2. 5貼UV	⑲ —	⑫ Mコ下地補修RE吹付	④⑤ LGS下地GB-D9. 5貼	⑤⑧ 掃除具新設	⑧⑭ SUSノリッパ(コム入)新設
⑦ 7&3並木新設(塗膜防水下地)	⑦ 下地補修後LVS2. 5貼替UV	⑳ —	⑬ LGS間仕切新設	④⑥ —	⑤⑨ 背面生徒ロッカ新設	⑧⑮ 木部SOP塗替
⑧ 底部分塗膜防水新設	⑧ 下地補修+LVS2. 5貼替UV	㉑ —	⑭ GB-R12. 5+9. 5貼吹付付	④⑦ FK6. 0貼EP-G	⑤⑩ 教師用戸棚新設	⑧⑯ WC床見切(SUS)新設
⑨ 消火用補助水槽基礎新設	⑨ Mコ下地LVS2. 5貼替UV	㉒ —	⑮ 鋼製ハレーション復旧	④⑧ ワイヤス+フタ留+Mコ下地補修RE吹付	⑤⑪ 特別教室 家具新設	⑧⑰ WCカーテン新設
⑩ Mコ下地RE吹付	⑩ Mコ下地LVS2. 5貼UV	㉓ —	⑯ LGS間仕切新設	④⑨ CRE	⑤⑫ 昇降口下足入新設	⑧⑱ —
⑪ 7&3サッシ廻りシーリング新設	⑪ 下地補修+LVS2. 5貼替UV	㉔ —	⑰ LGS間仕切新設	④⑩ 吹付付のトップコート塗	⑤⑬ ノリッパ付LVS2. 5貼	⑧⑲ 梁型下地補修
⑫ 打継部分含む	⑫ 土間コンクリート打(配筋D10@200)	㉕ —	⑱ 遮音間仕切	④⑪ —	⑤⑭ マット跡付貼	⑧⑳ 吹付付のトップコート塗
⑬ 下地補修RE吹付	⑬ 土間コンクリート打(配筋D10@200)	㉖ —	⑲ ビニールクロス貼替	④⑫ —	⑤⑮ —	⑧㉑ GB-S12. 5GL工法+化粧FK6. 0貼
⑭ 7&3サッシそのまま	⑭ OA707下地付付付貼		⑳ LGS間仕切新設	④⑬ 吹付付のトップコート塗		⑧㉒ WCサッシ新設
⑮ Mコ下地RE吹付	⑮ —		㉑ GB-R12. 5+9. 5貼EP-G	④⑭ —		⑧㉓ WCサッシ新設
⑯ 7&3サッシ新設	⑯ —		㉒ 吹付付のトップコート塗	④⑮ —		⑧㉔ 鉄骨面SOP塗替

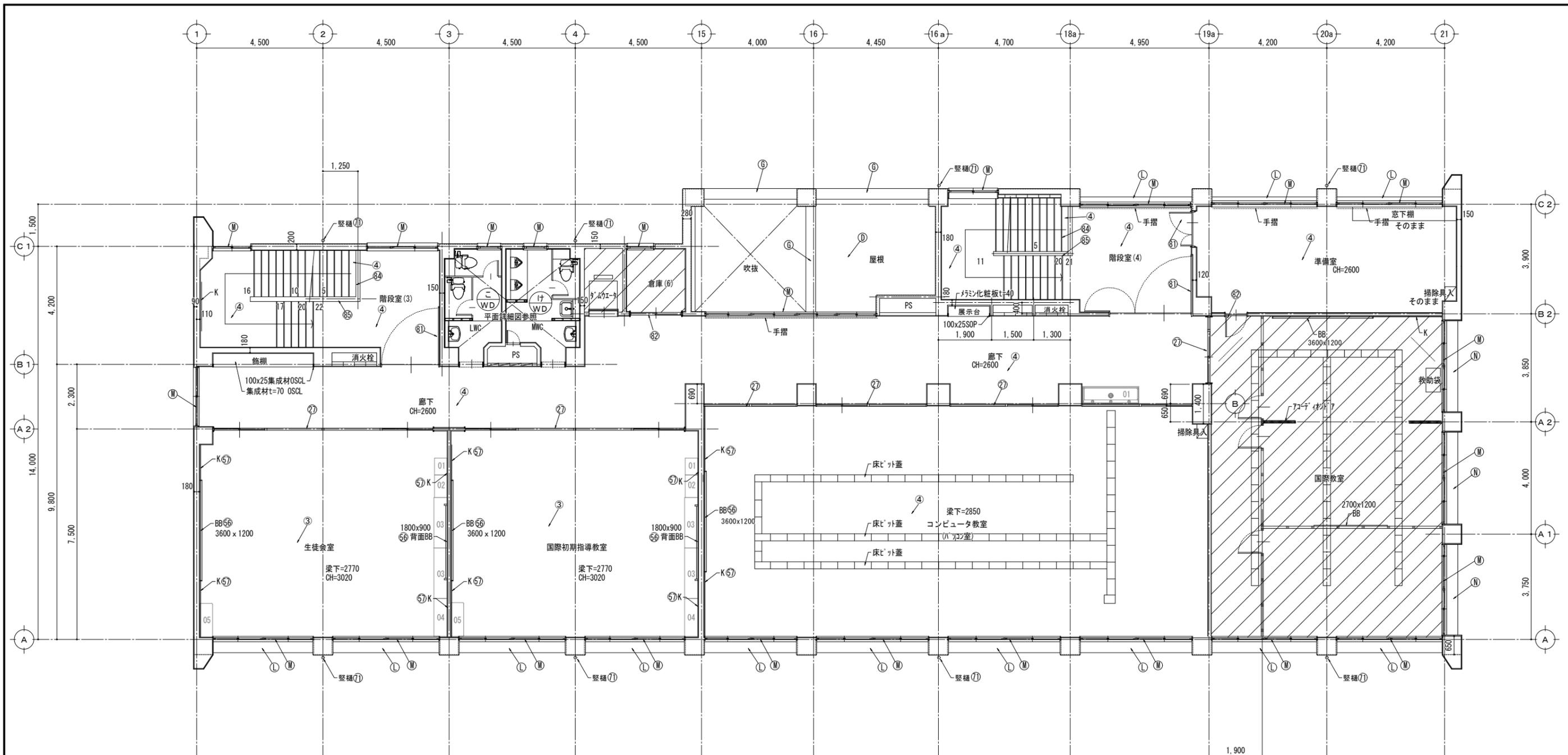


本図に於いて記載ある寸法は参考値とし現地測量により値決定のこと
不明、錯誤な点については監督員と協議の上決定する

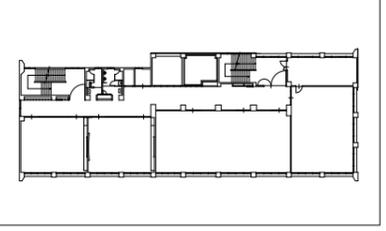


- 平面図凡例
- 鉄筋コンクリート造壁 柱
 - LGS壁下地 50型、100型
 - 木造壁下地組
 - (消) —
 - K — 掲示板
 - BB — 平面黒板3600x1200
 - P — ピクチャーレール
 - +500 — KBMからの高さを示す
 - — 改修工事施工範囲
 - ▨ — 改修しない範囲

改修項目		01 家具記載の番号は家具図の室毎の新設家具固有番号を示す	
外部関係	床	巾木	壁
(A) — そのまま	① — そのまま	14 — そのまま	27 — そのまま
(B) — 基礎壁塗装防水施工	② — 下地補修塗床剤塗替	15 — SOP塗替	28 — 下地補修EP-G塗替
(C) — 高圧洗浄後RE吹付	③ — サグ・掛+707コート3回塗	16 — EP塗替	29 — 下地補修SOP塗替
(D) — 塩ビシート防水施工 (機械式固定工法)	④ — 下地補修+LVS2.5貼替UV	17 —	30 — 下地補修SOP塗替
(E) — 改修用「ドレ・コナドレ」	⑤ — モテそのまま	18 —	31 — 鋼製ハレーション新設
(F) — 防水端未押工新設	⑥ — モテ下地LVS2.5貼替UV	19 —	32 — モテ下地補修RE吹付
(G) — 7M2並木新設(塗膜防水下地)	⑦ — 下地補修後「カベ」新設	20 —	33 — LGS間仕切新設 GB-R12.5+9.5貼吹付タイル
(H) — 底部分塗膜防水新設	⑧ — 下地補修+LVS2.5貼替UV	21 —	34 —
(I) — 消火用補助水槽基礎新設	⑨ — 下地補修+LVS2.5貼替UV 土間コンクリート打(配筋D10@200)	22 —	35 — 鋼製ハレーション復旧
(J) — モテ下地RE吹付	⑩ — モテ下地LVS2.5貼替UV	23 —	36 — LGS間仕切新設 遮音間仕切
(K) — 7M2サッシ廻りシーリング新設 打継部分含む	⑪ — 下地補修+LVS2.5貼替UV 土間コンクリート打(配筋D10@200)	24 —	37 — ビニール貼替
(L) — 下地補修RE吹付	⑫ — OA707下地タイル「カベ」貼	25 —	38 — LGS間仕切新設 GB-R12.5+9.5貼EP-G 室側707合板5.5貼そのまま
(M) — 7M2サッシそのまま	⑬ —	26 — GB-S12.5+化粧FK6.0貼	39 — 吹付タイルのトップコート塗
(N) — モテ下地RE吹付			
(O) — 7M2サッシ新設			
天井	器具・機器	その他	
40 — そのまま	53 — そのまま	66 — 新設小便器(設備工事)	79 — そのまま
41 — LGS下地GB-D9.5貼	54 —	67 —	80 — 木製建具新設
42 — 下地補修+EP吹付	55 —	68 — 掃除用流し新設(設備工事)	81 — 鋼製建具SOP塗替
43 — 下地補修SOP塗替	56 — 黒板の再取付	69 — 手洗器新設(設備工事)	82 — 木製建具SOP塗替
44 —	57 — 掲示板の再取付	70 — 洋風便器新設(設備工事)	83 —
45 — LGS下地GB-D9.5貼	58 — 掃除具新設	71 — 塩ビ・鋼管壁紙SOP塗替	84 — SUSノリツグ(ゴム)新設
46 —	59 — 背面生徒ロッカ新設	72 — 木部SOP塗替	85 — 集成材OSCL塗替
47 — FK6.0貼EP-G	60 — 教師用戸棚新設	73 — 学校間仕切掲示カス貼替	86 — WC床見切(SUS)新設
48 — ワイヤメッシュ留+モテ下地 補修RE吹付	61 — 特別教室 家具新設	74 — 梁型下地補修 吹付タイルのトップコート塗	87 — WCカレン新設
49 — CRE	62 — 昇降口下足入新設	75 — 梁型下地補修 吹付タイルのトップコート塗	88 —
50 — 吹付タイルのトップコート塗	63 — ノリツグ付LVS2.5貼	76 — 吹付タイルのトップコート塗	89 — 7M2サッシ新設
51 — 合板5.5下地ビニール貼	64 — マット跡タイル貼	77 — GB-S12.5GL工法+化粧FK6.0貼	90 — WCライン壁新設
52 — GB-R9.5+有孔PB12.5EP-G	65 —	78 — 梁型SOP塗替	91 — WCサッシ「ロック」三方枠 そのまま
			92 — 鉄面SOP塗替



本図に於いて記載ある寸法は参考値とし現地測量により値決定のこと
不明、錯誤な点については監督員と協議の上決定する



平面図凡例

- 鉄筋コンクリート造壁 柱
- LGS壁下地 50型, 100型
- 木造壁下地組
- 消火器
- K 掲示板
- BB 平面黒板3600x1200
- P ビックチャーレル
- +500 KBMからの高さを示す
- 改修工事施工範囲
- 改修しない範囲

改修項目		01 家具記載の番号は家具図の室毎の新設家具固有番号を示す	
外部関係	床	巾木	壁
(A) — そのまま (B) — 基礎架台塗膜防水施工 (C) — 高圧洗浄後RE吹付 (D) — 塩ビシート防水施工 (機械式固定工法) (E) — 改修用F-ドレ・コート ^レ (F) — 防水端未押工新設 (G) — 7&8並木新設 (塗膜防水下地) (H) — 底部分塗膜防水新設 (I) — 消火用補助水槽基礎新設 (J) — Mコ下地RE吹付 (K) — 7&8サッシ廻りシーリング 新設 打継部分含む (L) — 下地補修RE吹付 (M) — 7&8サッシそのまま (N) — Mコ下地RE吹付 (O) — 7&8サッシ新設	① — そのまま ② — 下地補修塗床剤塗替 ③ — サグ・掛+707コート3回塗 ④ — 下地補修+LVS2.5貼替UV ⑤ — Mコそのまま ⑥ — Mコ下地LVS2.5貼UV ⑦ — 下地補修後カベ ^レ ト新設 ⑧ — 下地補修+LVS2.5貼替UV 土間コンクリート打 (配筋D10@200) ⑨ — Mコ下地LVS2.5貼UV ⑩ — Mコ下地LVS2.5貼UV 土間コンクリート打 (配筋D10@200) ⑪ — 下地補修+LVS2.5貼替UV 土間コンクリート打 (配筋D10@200) ⑫ — OA707下地カベ ^レ ト貼 ⑬ —	14 — そのまま 15 — SOP塗替 16 — EP塗替 17 — 18 — 19 — 20 — 21 — 22 — 23 — 24 — 25 — 26 — GB-S12.5+化粧FK6.0貼	27 — そのまま 28 — 下地補修EP-G塗替 29 — 下地補修SOP塗替 30 — 下地補修SOP塗替 31 — 鋼製パネーション新設 32 — Mコ下地補修RE吹付 33 — LGS間仕切新設 GB-R12.5+9.5貼吹付タイル 34 — 35 — 鋼製パネーション復旧 36 — LGS間仕切新設 遮音間仕切 37 — ビニール貼替 38 — LGS間仕切新設 GB-R12.5+9.5貼EP-G 室側タイル合板5.5貼そのまま 39 — 吹付タイルのトップコート塗
			天井
			40 — そのまま 41 — LGS下地GB-D9.5貼 42 — 下地補修+EP吹付 43 — LGS下地GB-D9.5貼 44 — 45 — LGS下地GB-D9.5貼 46 — 47 — FK6.0貼EP-G 48 — フライス+アノ留+Mコ下地 補修RE吹付 49 — CRE 50 — 吹付タイルのトップコート塗 51 — 合板5.5下地ビニール貼 52 — GB-R9.5+有孔PB12.5EP-G
			器具・機器
			53 — そのまま 54 — 55 — 56 — 黒板の再取付 57 — 掲示板の再取付 58 — 掃除具入新設 59 — 背面生徒ロッカ新設 60 — 教師用戸棚新設 61 — 特別教室 家具新設 62 — 昇降口下足入新設 63 — ノスリ付LVS2.5貼 64 — マット跡タイル貼 65 —
			その他
			66 — 新設小便器 (設備工事) 67 — 68 — 掃除用流し新設 (設備工事) 69 — 手洗器新設 (設備工事) 70 — 洋風便器新設 (設備工事) 71 — 塩ビ・鋼管壁補修SOP塗替 72 — 木部SOP塗替 73 — 学校間仕切掲示カス貼替 74 — 梁型下地補修 GB-R9.5貼EP-G 75 — 梁型下地補修 吹付タイルのトップコート塗 76 — 吹付タイルのトップコート塗 77 — GB-S12.5GL工法+化粧FK6.0貼 78 — 梁型SOP塗替
			79 — そのまま 80 — 木製建具新設 81 — 鋼製建具SOP塗替 82 — 木製建具SOP塗替 83 — 84 — SUSノスリ付 (コム入) 新設 85 — 集成材OSCL塗替 86 — WC床見切 (SUS) 新設 87 — WCカレン新設 88 — 89 — 7&8サッシ新設 90 — WCライン ^レ 壁新設 91 — WCサッシ ^レ ロック三方枠 そのまま 92 — 鉄骨面SOP塗替

1811

可児市立蘇南中学校校舎大規模改修工事 (建築工事)

普通教室棟 管理・特別教室棟
改修 4階平面図 37棟 31棟

scale A2=1:100 A3=1:70.7%
date 32/05/20
design
draw
check



一級建築士320729号
定水 暁

1090

